谷添 大地

公式記録

令和7年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会

2025 3 11 00 キックオフ 会 ユニバー記念競技場 仠 11 П (月 天 候 晴れ 強風 天然芝 人工芝 ・ クレ・ 状 態 良好 試合形式 分 08 延長 20 分 PK戦 有 芝切 平野 敦士 軍営責任者 笠原 弘樹 会場主任 田村 孝次 記録 観衆 4,458 人 天谷 槍真 津田 吟弥 第4の審判員 典章 谷添 大地 副審1 副審2 松山 チーム名 延 kick off 前半 チーム名 kick off 1 三田学園高校 後半 O 神戸科学技術高校 2 延前 1 1 0 選手番号 0 延後 0 選手番号 PK戦 先 先 _ シュート (学年) 手 (学年) 選手名 位置 位置 選 名 OLIT時間 延後 延前 後半 前半 듣 믇 前半 後半 延前 延後 OUT時間 No 源 泰腊 GK GK 高嶋 真生 3 Œ 2 年 分 分 北原 DF DF 2 久保 大偉成 分 3 Œ 2 3 Œ 亮太 分 谷田 聖 *3 年* DF DF 長坂 皆飛 3 年 分 3 3 1 分 分 太田 寿馬 3 年 4 DF DE 池田 拓生 80 分 || || || || || DE DE **汁**本 畑屋 3 Œ 航三 2 年 分 分 80 分 小林 和暉 MF MF 萬 重习 分 佐伯 MF MF 藤原 琥真 分 *3 年* 6 3 **#** 分 分 1 * 松下 烫牛 3 年 14 ME ME 8 内山 拼登 .3 年 1* 1 分 67 分 岡本 知樹 3 年 FW 角田 獅王 MF 54 分 67 分 肥田 夢陽 3 年 FW FW 10 大川 遼 *3 年* 分 戸田 2 村上 龍宏 3 年 ΕW ΕW 世当 80 分 9 11 .3 年 1 97 分 分 畑本 悠之介 1 年 GK GΚ 高井 小稀 *3 年* 分 今井 優太朗 2 年 DF DF 優斗 分 國太 3 Œ 分 細田 構山 分 健太 3 年 6 MF DE 14 **減来** 3 # 分 分 1* 松尾 優希 3 **#** MF DF 島田 大我 3 **#** 分 分 伊井 -志 2年 2 MF MF 13 今野 巽 2年 分 19 шнт 分 坂東 航 2 年 22 MF MF 16 畑山 一護 3 Œ 分 恩地 分 陽大 1 年 FW FW 9 森 春陽 分 21 FW FW 高野 上山 竜之介 *3 年* 17 佑真 *3 年* 分 20 分 11 分 2 水田 谣友 2年 27 FW FW 19 森岡 稜 2 年 分 9 時間 警•退 Nο 名 事由 合計 延後 延前 後半 前半 チーム合計 前半 後半 延前 延後 合計 時間 警•退 Æ 夕 事由 シュート 堃 豆ス 4 Ω 9 95 堃 反ス 33 谷田 ĦC 12 6 4 分 國本 優斗 分 分 警 9 村上 龍宏 10 2 0 2 6 G K 4 6 0 11 分 0 2 5 CK 6 0 О 7 分 0 分 9 3 直接FK 2 5 0 8 分 2 3 分 分 0 0 О 0 間接FK О 2 0 0 2 分 0 0 О PK 0 О 分 0 分 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [警告事由] [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2 略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS 時間 得点者 スコア [得点経過] 35 神戸科技 8 内山 分 0 左CK 8 1 S 三用 50 分 14 松下 1 - 1中中 2 右 14 \sim S 三田 8 松尾 2 中央 8 S 85 分 _ 1 1 \cap 得 分 点 分 分 経 分 過 分 分 分 分 戦評者 所属/名前 明石商/藤坂真士 【 高砂南/金山達也 強風吹き荒れる中、三田1-4-4-2、神戸科技1-4-3-3で神戸科技のキックオフでスタート。風下の三田はサイドを起点に仕掛けてクロス、 短風吹き流れる中、三田「ー4ー4ー2、神戸村及「一4ー3ー3 と神戸村及いエッフィン へんノー 。 ぶ」 シニロロフィー ととぶには思っていた。からチャンスを伺う。 風上の神戸科技は5萬が長短のパスを織り交ぜ、や内側に配置した3トップを活かしながら迫力のある攻撃を展開する。 35%ドからのコーナーキックを8内山が直接決め、神戸科技が先制。三田は風の影響もあり、ロングボールから上手く起点を作れず、苦しい展開が続いた。 35分、左サイ 変わった後半、強度の高い守備で主導権を渡すまいとする神戸科技に対して、風上に立った三田はロングボールから2トップが背後へ抜け出し、リズムをつか む。セカンドボールを回収できるようになり、マイボールの時間帯が増えてきた三田は、前半同様サイドからチャンスを作る。 50分、右サイドを抜け出した三 田14松下のクロスがそのままネットを揺らし、同点に追いつく。追いつかれた神戸科技は向かい風に苦しみながらも、11戸田、8藤原の個人技を活かしなが ら三田ゴールに迫る。 一進一退の攻防が続く中、両チームともに前線の選手を入れ替えて攻撃に勢いをつけようとするが、互いに身体を張った守備でゴールを割 らせず、1-1のまま延長戦に突入する。8松尾を投入し、さらに攻撃に勢いをつけにかかった三田は延長前半5分、1源のロングフィードが相手ディフェンス ラインを越えたところに抜け出した8松尾がキーパーとの1対1を冷静に流し込み、2-1とした。延長後半、神戸科技は前線でのパスワークやロングスローな どからチャンスを伺うが、三田の堅い守備に阻まれ、試合終了。お互いに気持ちと技術がぶつかった好ゲームとなった。

準決勝

[45]